



Attention

このPDFには、志願票等の出願に必要な書類は含まれません。出願の際には、必ず紙媒体の募集要項を入手してください。

平成 30 年度

帰国子女特別入試募集要項

言語文化学部
国際社会学部

東京外国語大学

出願期間	平成29年11月20日(月)～11月24日(金)
------	--------------------------

目 次

○東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー	1
帰国子女特別入試の趣旨	2
I. 募集人員	2
II. 出願資格	3
III. 出願手続	3
IV. 入学者選抜方法	5
V. 合格者発表	6
VI. 入学手続	6
VII. 障害等のある志願者の事前相談	6
VIII. 個人情報の利用にあたって	6
IX. 出願書類記入上の注意	7
コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法	12

添付書類

- (1) 入学志願票
- (2) 受験票・写真票
- (3) あて名票
- (4) 検定料振込用紙

問 い 合 わ せ 先

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL 042-330-5179

受付時間（窓口・電話とも）

月曜日から金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

（土曜日、日曜日及び祝日を除く）

※ 電話による問い合わせについては、原則として出願者本人が行うこと。

① 教育の理念

東京外国語大学の理念は、世界の言語と、それを基底とする文化・社会に関する教育を実施し、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身に付け、さまざまな文化的背景をもつ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成することです。

② 求める学生像

東京外国語大学では、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超域的な視点から扱う諸学問分野の基礎を学ぶことができます。

国内外の高等学校等において、総合的で確かな基礎学力、ものごとに対する思考力・判断力・表現力、そして主体的に学ぶ態度を身に付けたうえで、本学の理念に共感し、さまざまな文化的背景をもつ人々と共に働き、地球的な課題に取り組む意欲にあふれる人を受け入れます。

【 言語文化学部 】

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、国内外において異なる言語間・文化間の架け橋となって活躍する国際教養人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては次のような目標が考えられます。

- ・ 出版、広告、観光などに関わる職業
- ・ 文化事業の企画に関わる職業
- ・ 新聞社・放送局などのマスメディア
- ・ 国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど）
- ・ 通訳・翻訳に関わる職業
- ・ 英語など外国語教育に関わる職業
- ・ 日本語教育に関わる職業
- ・ 大学院に進学し、研究・調査の仕事

【 国際社会学部 】

国際社会・現地社会と協働して現代世界が抱える紛争・災害、環境問題、経済格差・貧困等の問題解決を図り、社会に貢献する国際職業人を目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては次のような目標が考えられます。

- ・ 外交官などの国家公務員、及び地方公務員
- ・ 国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど）
- ・ 国際機関や国際的に活動するNGO
- ・ 新聞社・放送局などのマスメディア
- ・ 社会科・地理歴史科の中学・高校教員
- ・ 大学院に進学し、研究・調査の仕事

③ 選抜方法の方針（帰国子女特別入試）

- ・ 保護者の海外勤務等に帯同して外国の学校教育を受け、別に定める基礎資格を有するものを対象にします。
- ・ 修了教育機関における成績等による第一次選抜と、本学の個別学力検査（一般選抜の前期日程試験）による第二次選抜を課しています。

帰国子女特別入試の趣旨

国際社会における我が国の地位と役割の変化に伴い、開かれた大学のあり方を求める立場から、国際的経験を積んだ外国の学校を卒業した日本人及び外国人を対象として、一般の選抜とは異なる方法で帰国子女の特別入試を実施する。

【注意事項】

入学後の取扱いは、一般の選抜により入学した者と同様とする。

I. 募集人員

【言語文化学部】

学科	募集単位 (言語)	募集 人員	入学後の 配属地域	
言語 文化 学 科	英語	若 干 名	北西ヨーロッパ 北アメリカ	
	ドイツ語		中央ヨーロッパ	
	ポーランド語			
	チェコ語			
	フランス語		西南ヨーロッパ	
	イタリア語			
	スペイン語		西南ヨーロッパ	
	ポルトガル語		ラテンアメリカ	
			西南ヨーロッパ ラテンアメリカ	
	ロシア語		ロシア	
	モンゴル語		中央アジア	
	日本語		中央アジア	
	中国語		日本	
	朝鮮語		東アジア	
	インドネシア語		東南アジア	
	マレーシア語			
	フィリピン語			
	タイ語			
	ラオス語			
	ベトナム語			
	カンボジア語			
	ビルマ語			
	ウルドゥー語			南アジア
	ヒンディー語			
ベンガル語				
アラビア語	西アジア・ 北アフリカ			
ペルシア語				
トルコ語				

【国際社会学部】

学科	募集単位 (地域)	募集 人員	入学後の 配属言語
国 際 社 会 学 科	北西ヨーロッパ	若 干 名	英語
	中央ヨーロッパ		ドイツ語
			ポーランド語
			チェコ語
	西南ヨーロッパ 第1		フランス語
	西南ヨーロッパ 第2		イタリア語
			スペイン語
	ロシア		ポルトガル語
	北アメリカ		ロシア語
	ラテンアメリカ		英語
	日本		スペイン語
	東アジア		ポルトガル語
	中央アジア		日本語
	東南アジア第1		中国語
			朝鮮語
			モンゴル語
			ロシア語
			インドネシア語
	東南アジア第2		マレーシア語
			フィリピン語
			タイ語
			ラオス語
			ベトナム語
			カンボジア語
南アジア	ビルマ語		
	ウルドゥー語		
	ヒンディー語		
	ベンガル語		
西アジア・ 北アフリカ	アラビア語		
	ペルシア語		
アフリカ	トルコ語		
オセアニア	英語		
	英語		

(注1) 言語文化学部を志願する者は、志願言語及び入学後の配属希望地域を出願時に届け出ること。

(注2) 国際社会学部を志願する者は、志願地域及び入学後の配属希望言語を出願時に届け出ること。

Ⅱ. 出願資格

日本国籍を持つ者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に帯同し、やむを得ない事情により外国の学校教育を受け、下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしている者。(保護者が先に帰国した場合は、その後の滞在が1年未満であること。)

1. 基礎資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(外国においてのものに限る。)

※「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、修了により当該国の大学への受験資格が得られることを要する。外国に所在するインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。

- (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- (3) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格(ライフェ資格を含む。)を有する者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- (4) 外国において、フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 平成30年4月1日現在において基礎資格取得後2年以内であること。(平成28年4月1日から平成30年3月31日までの間に基礎資格を取得していること。)
- (2) 外国の学校(日本の高等学校に相当する課程をいう。)に最終学年を含めて3学年以上継続して在学(飛び級等を含む。)したこと。ただし、この年数には、日本の学校教育法に基づく課程によるものは含まない。
なお、中国引揚者等子女については、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した準備教育年数を含めて3年としてよい。

(注) 基礎資格(6)の個別の入学資格審査対象となる者は、上記(1)～(5)のいずれにも該当しない者である。これにより出願する場合は、事前に入学資格審査が必要となるので、次の要領にて申請すること。

1. 申請期限 平成29年9月29日(金) 本学必着
2. 申請方法 書留郵便(「入学資格認定申請書類在中」と明記すること。)
3. 提出書類
 - ① 入学資格認定申請書(本学所定様式。本学ホームページからダウンロード。)
(<http://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/sinseisyo.pdf>)
 - ② 高等学校課程に相当する課程等における学習歴を証明する書類(成績証明書でも可)、あるいは、社会での実務経験や取得した資格を有する者は、その実務経験や取得した資格を証明する書類
※学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出すること。
 - ③ 返信用封筒(長形3号封筒に申請者の宛先(日本国内に限る)を明記し、簡易書留による返信用切手392円分を貼り付けること。)
4. 審査結果 入学資格審査結果については、本人宛に郵送にて通知する。

Ⅲ. 出願手続

1. 出願方法

- (1) 出願期間
平成29年11月20日(月)から平成29年11月24日(金)まで(必着)
受付期間経過後に到着した書類は、いかなる理由があっても受理しない。
ただし、期間後に本学に到着した場合でも、平成29年11月22日(水)以前の日本国内発信局消印のある書留郵便に限り受け付ける。
- (2) 出願方法
出願は、郵送に限る。出願書類等は一括して角形2号封筒に入れ、書留郵便で前記の出願期間中に必ず届くように送付すること。封筒には【出願書類提出用封筒記入例】を参考に、必要事項を記入すること。

2. 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入すること。</p>
受 験 票 ・ 写 真 票	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、受験票・写真票それぞれに写真（上半身・正面・無帽で出願日前3か月以内に撮影したもの）を貼り付けること。</p>
検 定 料 (17,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定銀行に振り込むこと。</p> <p>①〔銀行窓口での振込〕 本学所定振込用紙を用い、銀行窓口で振込手続を行うこと。</p> <p>②〔コンビニエンスストアでの振込〕 巻末の説明を参照の上、振込手続を行うこと。 なお、①の場合は「振込金受付証明書」を、②の場合は「収納証明書」を志願票の指定箇所に貼り付けること。</p>
成績証明書・卒業 (修了) 証明書等	<p>高等学校（日本の高等学校に相当する課程をいう。）の成績証明書及び卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書。</p> <p>なお、国際バカロレア資格を取得した者は、最終6科目の成績証明書及び資格証明書又はその写し、アビトゥア資格（ドイツ）を取得した者は、成績の記載されている一般の大学入学資格証明書又はその写し、バカロレア資格（フランス）を取得した者は、バカロレア資格証書及びバカロレア資格試験成績証明書、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（イギリス）を有する者は、GCE (General Certificate of Education) の成績評価証明書を併せて提出すること。</p> <p>※外国の証明書でコピーの場合は、在外公館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。</p> <p>※英語・中国語以外の言語で記載されている場合は、当該国の公的機関で証明された日本語訳又は英語訳を添付すること。</p>
国家試験等の統一 試験成績評価証明書（写） ※該当者のみ提出	<p>国家試験等の統一試験のある国では、その統一試験を受験していることが望ましい。</p> <p>既に受験している場合は、次の成績評価証明書を提出すること。</p> <p>また、出願後に受験する場合は、証明書が得られ次第、本学入試課に送付すること。（この場合は、出願前に入試課に連絡すること。）</p> <p>ア. アメリカ合衆国の教育制度によるもの</p> <p>① College Board (CB) 又は Educational Testing Service (ETS) の実施する下記試験の成績評価証明書</p> <p>a. Scholastic Aptitude Test (SAT)</p> <p>b. Test of English as a Foreign Language (TOEFL) の Score Card</p> <p>② American College Testing Program (ACT) が行う ACT-Examination</p> <p>イ. その他の国の教育制度によるもの</p> <p>統一試験のある国については、その国の規則に従って受験した成績評価証明書</p>
本人のパスポート (写)	<p>記載事項のあるすべてのページの写しを提出すること。また、複数冊にわたる場合もすべての冊子について同様とする。</p> <p>出願時に海外に在住している者は、日本国の在外公館発行の海外在留証明書も提出すること。</p>
保護者の海外在留 証明書	<p>様式は自由。（様式見本参照）保護者が勤務する会社等の所属長が証明した在留期間、在留地等が記入されている証明書を提出すること。</p>
あ て 名 票	<p>本学所定の用紙（シール3枚）に、合格通知書等本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入すること。 （志願票の「日本国内の連絡先」と同一住所とすること。）</p>
受験書類送付用 封筒	<p>長形3号封筒に、第1次選考結果通知を確実に受け取れる郵便番号・住所（日本国内に限る）・氏名を明記し、392円分の切手を貼り付けること。</p> <p>海外在住者は代理人の住所・氏名を記入し、空いている部分に志願者本人の氏名を括弧書きすること。</p>

3. 出願についての注意

- (1) 出願書類に不備がある場合、受理しないことがあるので十分注意すること。
- (2) 出願資格について疑問のある場合は、出願書類提出前に本学入試課に相談すること。(資格確認の結果については、2週間後をめぐりに通知する。)
- (3) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しない。
- (4) 出願後の志願学部、志願言語又は地域の変更は認めない。また、入学後の学部、言語又は地域の変更は認めないので注意すること。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違している場合には、入学を取り消すことがある。
- (6) 第1次選考の不合格者に対しては、検定料のうち13,000円を返還するが、この場合、平成30年3月30日(金)までに申し出ること。検定料返還の取扱いについては、第1次選考結果とともに通知する。なお、第1次選考で不合格となった場合以外、いかなる理由があっても既に納入した検定料は返還しない。

IV. 入学者選抜方法

大学入試センター試験は免除し、第1次選考、第2次選考により総合して行う。

1. 第1次選考

修了教育機関における成績等により行う。

なお、当該国の統一試験を受けている場合には、その成績等も参考にする。

2. 第2次選考

- (1) 第1次選考合格者に対し、本学学力検査(各学部とも一般選抜の前期日程試験)を行う。
- (2) 選考方法は、本学学力検査及び修了教育機関における成績等を総合して行うものとする。
- (3) 本学学力検査の日程等については、次のとおりである。

①実施期日・試験場

平成30年2月25日(日) 東京外国語大学(東京都府中市朝日町3-11-1)

②実施教科・科目等

教科	科目	時間	配点
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「朝鮮語」の中から1科目を選択し、受験すること。 <u>ただし、言語文化学部の募集単位(言語)のうち「英語」を志願する者、及び国際社会学部の募集単位(地域)のうち「北西ヨーロッパ」「北アメリカ」「アフリカ」「オセアニア」を志願する者は、必ず「英語」で受験すること。</u> 【注意事項】 ①科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。 ②試験はリスニングを含む。	10:00 ～ 12:30 (150分)	300点
地理歴史	「日本史」または「世界史」のどちらか1科目を選択し、受験すること。 【注意事項】 科目はあらかじめ出願の際に選択し、届け出たものを受験すること。	14:00 ～ 15:00 (60分)	100点

V. 合格者発表

1. 第1次選考合格者発表

第1次選考合格者には「受験票」及び「受験者心得」を、不合格者には「不合格通知書」を、それぞれ各人宛に平成30年1月上旬に「受験書類送付用封筒」により郵送する。もし、平成30年1月12日（金）までに通知が届かないときは、本学入試課まで電話で照会すること。

（注）大学からの連絡、第1次選考の結果に伴う受験票等の送付は、入学志願票の「日本国内の連絡先」欄に記載の住所、氏名宛に行う。

2. 第2次選考合格者発表

平成30年3月6日（火） 午前10時 本学掲示板

最終合格者には、合格通知書及び入学手続き書類を、出願時に提出された「あて名票」の住所に郵送する。

また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する。（詳細は受験票郵送の際に通知する。）ただし、ホームページ上の発表は参考としての閲覧のため、必ず掲示又は合格通知書により確認すること。

なお、合否に関する電話等による照会には、一切応じない。

VI. 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学手続を行うこと。手続の詳細については、合格通知書郵送の際に通知する。

1. 手続期間

平成30年3月14日（水）・15日（木）のいずれかの日

※上記期間内に入学手続をとらない者は、入学辞退者として取り扱う。

2. 納付金

(1) 入学料 282,000円

なお、授業料は前半期分267,900円を4月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。

（注1）入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用する。

（注2）入学手続完了者が入学を辞退する場合は、入学辞退届（本学所定様式）を平成30年3月30日（金）までに本学入試課へ提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作られ、授業料納付の義務が発生する等の問題が生じるので早めに届け出ること。

（注3）入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

VII. 障害等のある志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等のある志願者及び発達障害を有する志願者で、その障害の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となった者は、電話等で相談すること。

(1) 受付期日

平成29年9月29日（金）まで

(2) 相談方法

下記の必要事項を記入し（様式は任意）、添付書類とともに、書留により郵送又は窓口へ持参すること。必要な場合は、本学において志願者又は関係者等と面談を行う。

〔記載事項〕 ①志願者氏名、年齢、性別 ②連絡先（住所、電話番号）

③出身学校、卒業（見込み）年月 ④志願学部、志願言語又は地域、受験科目

⑤障害の種類、程度 ⑥受験上希望する配慮事項 ⑦修学上希望する配慮事項

⑧添付書類（医師の診断書、身体障害者手帳（写））

VIII. 個人情報の利用にあたって

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号及び入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。

(1) 出願者の情報：入学者選抜、合格発表及び入学手続業務に利用する。

(2) 入学者の情報：教務関係（学籍簿の作成、英語学習支援等）、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。

Ⅷ. 出願書類記入上の注意

【共通事項】

- (1) 出願書類はすべて、必ず志願者本人が黒ボールペンで丁寧に記入すること。文字は楷書体、ローマ字活字体を用いること。
- (2) 数字は算用数字を用い、年号表記は西暦を用いること。
- (3) 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- (4) 誤って記入した場合は、二重線を引いて訂正印を押印の上、余白部分に訂正すること。

1. 入学志願票

別紙の記入例を参照し、正確に記入すること。

2. 受験票・写真票

- (1) 志願学部、志願言語又は地域、氏名及び外国語、地理歴史の受験科目を必ず書くこと。
- (2) 眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用して撮影した写真を使用すること。

【記入例】（表面）

平成30年度 東京外国語大学帰国子女入学志願票

〔記入上の注意〕

1. 黒ボールペンを使用し、文字は楷書体、ローマ字活字体を用いること。
2. 数字は算用数字を用い、年号表記は西暦を用いること。
3. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
4. — 内は記入漏れがないようすべて記入すること。

		※ 受験番号			
フリガナ ① 氏 名	ガイコ ハナコ 外 語 花 子	② 性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	③ 生年月日	1998 年 10 月 30 日生 (満 19 歳)
④ 国 籍	日 本	*永住許可を得ている外国人のみ記入すること 入国年月日 年 月 日 在留資格 ()		⑤ 母 語	日 本 語
⑥ 現 住 所	東京都新宿区〇〇町×-×-× 電 話 (042) - (×××) - (××××) 携帯電話 (090) - (×××) - (××××)				
⑦日本国内の連絡先（大学からの連絡、選考結果の通知、受験票の送付等は、すべてこの連絡先あてに行う。）					
住 所	〒183-×××× 東京都府中市〇〇町×-×-× 電 話 (042) - (×××) - (××××) 携帯電話 (090) - (×××) - (××××)				
フリガナ 氏 名	トウキョウ タロウ 東 京 太 郎	志願者との関係		親 戚	

⑧志願学部等（志願する学部を1つ選択し、■に塗りつぶすこと。また、「言語文化学部」を志願する場合は志願言語及び配属を希望する地域を、「国際社会学部」を志願する場合は志願地域及び配属を希望する言語を記入すること。）				
<input checked="" type="checkbox"/> 言語文化学部	志願言語	ス ペ イ ン 語	配属地域	ラテンアメリカ
<input type="checkbox"/> 国際社会学部	志願地域		配属言語	

⑨本学学力検査の科目選択（本学学力検査の外国語、地理歴史において受験する科目を選択し、■に塗りつぶすこと）	
外国語 科 目	<input type="checkbox"/> 英 語 <input checked="" type="checkbox"/> ドイツ語 <input type="checkbox"/> フランス語 <input type="checkbox"/> スペイン語 <input type="checkbox"/> 中 国 語 <input type="checkbox"/> 朝 鮮 語
地理歴史 科 目	<input type="checkbox"/> 日 本 史 <input checked="" type="checkbox"/> 世 界 史

⑩【振込金受付証明書又は収納証明書貼付欄】	
収納証明書 ￥ 17,000円 東京外国語大学検定料	
<input type="text" value="〇〇銀行"/>	

【記入例】（裏面）

フリガナ	ガイゴ ハナコ
氏名	外語花子

⑪学校教育歴（在籍した学校のすべてを記入すること。「飛び級」や「繰り上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入すること。）

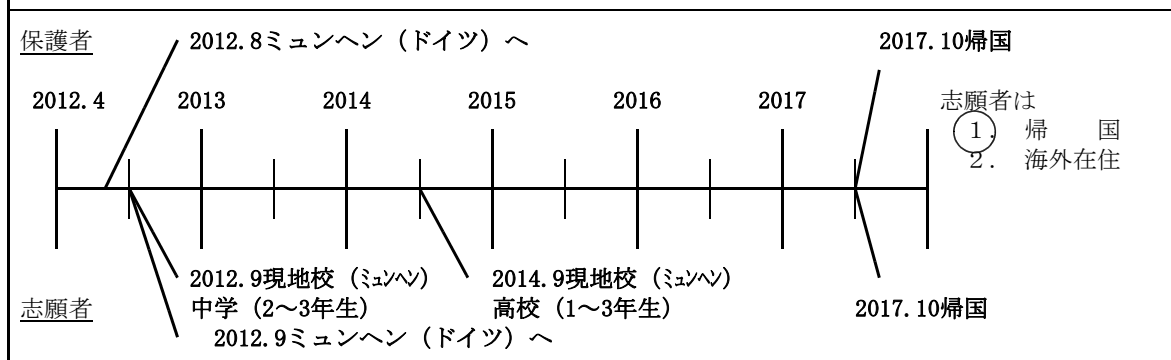
	学校名	学校の住所・国名	在学期間		その学校の 修業年限	特記 事項
			入学・卒業(修了) 年月～年月	年・月数		
初等教育 小学校	府中市立〇〇小学校	東京都府中市	2005.4～2011.3	6年	6年制	
中等教育 中学校 高等学校	府中市立〇〇中学校 ××××中学校 ××××高校	東京都府中市 ドイツミュンヘン ドイツミュンヘン	2011.4～2012.8 2012.9～2014.6 2014.9～2017.6	6年 1か月	3年制 3年制 3年制	
その他						

*該当者のみ記入すること。

1. 国際バカロレア ②. アビトゥア（ライフェ） 3. フランス共和国バカロレア
4. GCE（Aレベル 科目、ASレベル 科目）

2017年6月30日 取得・取得見込み

⑫保護者の海外在留期間と志願者の海外在学期間



⑬
高等学校卒業後の履歴

⑭
外国の学校教育を受けなければならなかった理由 **父がドイツ（ミュンヘン）に転勤となったことにより、家族全員がドイツに引っ越して生活することになったため。**

⑫事例

保護者は、志願者が中学2年の8月（2012年8月）に転勤によりミュンヘン（ドイツ）へ赴任した。志願者は同年9月にミュンヘンへ行き、現地校の中学2年生に転入した。その後、2014年9月に現地の高校へ入学、2017年6月に卒業し、保護者と共に2017年10月に帰国した。

【様式見本】

平成〇〇年〇〇月〇〇日

在 留 証 明 書

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 氏 名 | 外 語 太 郎 (保護者の名前) |
| 2. 所 属 | 〇〇商事株式会社ミュンヘン事務所 |
| 3. 在 留 地 | ミュンヘン (ドイツ) |
| 4. 海外在留期間 | 2012年8月〇日～2017年10月〇日 |
| 5. 海外在留理由 | 業務上の海外駐留のため |
| 6. 帯同者及び
海外在留期間 | 外語菜々子 (妻) 2012年9月〇日～2017年10月〇日
外語花子 (子) ” |

上記の者が、海外在留していた当社社員であることを証明します。

証明者	住 所	東京都府中市朝日町〇丁目〇番地〇号
	名 称	〇〇商事株式会社
	人事担当部長 (職名)	〇 〇 〇 〇 印

